

I 平成 29 年度 初任者研修実施状況について

資料 4

1 対象者数

	小学校	中学校	高校	特別支援	養護教諭	栄養教諭	合計
対象者	101	60	17 (含む甲陵高校 3)	20	7	6	211
除外者	9	3	0	0	0	0	12

2 研修の構成

平成 29 年度初任者研修は、教諭が校内研修年間 300 時間、校外研修年間 25 日（センターで 19 日、本庁等で 6 日）、新採用研修として実施している養護教諭及び栄養教諭は、校外研修 16 日（センターで 14～15 日、本庁等で 1～2 日）で構成されている。なお、初任者研修は、文部科学省が示している 7 分野（基礎的素養、学級経営、教科指導、道徳、特別活動、総合的な学習の時間、生徒指導・進路指導）を中心に研修を実施している。

3 総合教育センターにおける研修について

初任者の受講アンケート結果は、以下のとおりである。

	大いに満足	満足	やや不満	不満
全 16 研修	90.7%	9.3%	0% (1 名)	0%

(1) 研修の成果

- ①学級経営、授業での ICT 活用、教科指導関係、危機管理、防災教育研修で学んだことは、「すぐ役立つ、活用できた」と振り返る初任者が 8 割を超え、その他の研修においても 6～7 割程度おり、「実践的指導力を養い、幅広い知見を得る」という初任者研修の目的を果たしている。
- ②研修後の受講記録から、研修会を通じて、組織としての学校の一員であることの自覚が育っているように見受けられる。また、「情報交換を重視し、校種の枠を超えた協議を通し、主体的・自主的な研修態度を育成する」という運営の基本方針のもと、様々な校種職種が一堂に会して研修を行うことで、児童生徒の「発達段階に応じて」という視点がしっかりと意識され、所属校種の児童生徒の入学前と卒業後を意識した、在学中の指導の在り方を考える絶好の機会となっている。
- ③特別支援学校参観研修、宿泊研修、企業等体験研修、福祉とボランティア研修、博学連携研修は、臨地体験を含む研修であり、初任者は「生きるということ」「働くということ」「児童生徒の視点」といった様々なことを学び、教育の原点を考えるとともに、社会人としても生き方・在り方を顧みる機会となったようである。

(2) 研修の課題

- ①「やまなし教員等育成指標」が策定され、一人一人の教員がキャリアステージに応じて資質・能力を高めていくことが求められることになった。そのため、文部科学省が示す 7 分野と「やまなし教員等育成指標」で求める資質・能力を精査し、初任者研修の計画・立案が必要である。
- ②夏期の教科指導法 2（小・理科）では、冷房設備のない実験室において、白衣着用で研修を実施したことへの意見が寄せられた。

4 所属校における研修、授業研修会等について

(1) 研修の成果

- ①初任者本人の研修に向かう意識が高く、指導教員の適切な指導助言により初任者の力量が向上して

いる様子や、指導教員を中心に全校職員体制による研修を行うことで、初任研のみならず校内研全体が活性化し学校全体にとっても有意義な実践的研修となっていることなどが、所属校校長によるアンケート、初任者の研修記録等からうかがわれる。

②今年度は、研修記録の様式等について以下のように変更することで、初任者や指導教員等の負担軽減、研修の充実を図った。

- ・授業研修会等の記録の様式、項目、内容等を見直し、全てA4版1枚にすることで、記述量を軽減した。
- ・授業研修会の記録における実習校指導教員の所見欄を無くし、確認のための捺印のみとした。(所見は必要に応じて余白に記入することとした。)
- ・異校種参観研修の記録の提出期限を、終了後2週間以内から3週間以内に延長し、事務所指導主事が研修記録の内容等を点検する時間を確保した。

(2) 研修の課題

①小・中学校のほとんどの初任者は学級担任であり、様々な教育課題を抱えている。初任者の勤務時間が長くなりがちで健康管理も心配される。このような中、研修の内容や質を保つために勤務時間外に指導を行わざるを得ない状況もある。

②平成30年度の初任研対象者の大幅な増加に伴い、以下のような課題が挙げられる。

- ・企業等体験研修の受け入れ先の変更が必要になる。
- ・中北地域の小学校については、初任研対象者が授業研修会実習校の受け入れ可能人数を超えることが懸念される。

II 平成30年度 初任者研修について

1 対象者数

	小学校	中学校	高校	特別支援	養護教諭	栄養教諭	合計
対象者	126	62	21 (含む甲陵高校3)	25	15	5	254
除外者	10	3	1	0	0	0	14
採用数	136	65	22 (含む甲陵高校3)	25	15	5	268

2 初任研対象者増加に伴う変更点

(1) 宿泊研修：2泊3日(1回) → 1泊2日(2回)

(2) 企業研修：小中高特で実施 → 小中のみ実施

(2)(3) 同日開催

(3) 福祉とボランティア研修：小中高特で実施 → 高特のみ実施

3 研修の構成

上記変更により、平成30年度初任者研修は、教諭が校内研修年間300時間、校外研修年間23日(センターで17~18日、本庁等で5から6日)、養護教諭及び栄養教諭が校外研修15日(センターで13~14日、本庁等で1~2日)で構成することとした。また、文部科学省が示す7分野と「やまなし教員等育成指標」で求める資質・能力に基づいて計画を立案した。

平成29年度 初任者研修 総合教育センターにおける研修計画について

山梨県総合教育センター 初任研担当

1 運営の基本方針

- (1) 文部科学省で示している7つの分野(基礎的素養・学級経営・教科指導・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・生徒指導・進路指導)を中心に行う。
- (2) 体験活動・情報交換を重視し、校種の枠を超えて課題等を協議できる機会とする。
- (3) 主体的・自主的な研修態度を育成し、教員のライフステージに応じた研修のための基礎とする。

文部科学省が示している分野・項目		総合教育センターにおいて計画した研修				
研修分野	研修項目	実施日時	研修内容	研修方法	研修形態	研修時間
基礎的要素	1 公教育の役割と諸課題の解決に向けた取組	4月14日	学校教育の現状と課題	講義	全体	1.0
	2 学習指導要領と教育課程の編成	4月28日	学習指導要領と評価	講義・演習	校種別	1.5
	3 学校教育目標の具現化に向けた取組					
	4 教員の勤務と公務員としての在り方	4月14日	教育公務員の服務	講義	全体	1.0
	5 学校の組織運営		初任者としての学校運営への参画	講義・演習	全体	1.0
	6 教員研修と教員としての生き方		社会人としての接遇の在り方	講義・演習	全体	1.0
	7 教育課題の解決に向けた取組					
	①人権教育	6月2日	人権教育	講義	全体	1.5
	②環境教育					
	③教育の情報化等への対応	4月28日	授業でのICTの活用	講義	校種別	1.0
		6月30日	情報に関する危機管理	講義・演習	全体	1.5
		1月12日	情報技術実践(ICT活用授業実践報告)	発表・研究協議	校種別・グループ別	5.5
	④教育の国際化への対応					
	⑤学校保健、安全指導の進め方	6月30日	健康教育 保健安全	講義	全体	1.5
	⑥食に関する指導の進め方(含む給食指導)		健康教育 食育	講義	全体	1.5
	⑦その他教育課題への対応					
	8 特別支援教育の制度と具体的な取組	4月28日	特別支援教育基礎	講義	全体	1.5
		5月19日	特別支援学校参観	授業参観・研究協議	全体	6.0
	9 教育機関や企業等における体験を通じた研修	8月16日	福祉とボランティア	体験	グループ別	6.0
		10月13日	企業等体験研修	講義・体験	高特対象	6.0
11月10日		博物館等の学校教育への活用の仕方	講義・体験	全体・グループ別	3.0	
任意の2日		地域と教育	課題研究	個人	12.0	
1月26日		地域と教育 発表	発表・研究協議	全体	3.0	
10 研修の総括	1月26日	初任者研修の成果と課題	発表・研究協議	校種別・グループ別	2.5	
		初任者の今後に期待すること	講義	全体	1.0	
学級経営	1 学級経営の意義	4月14日	学級経営の基本的な考え方	講義・演習	校種別	1.5
	2 学級経営の実際と工夫		学級経営の実際と課題			
	3 保護者と連携を図った学級経営					
	4 学級事務の処理					
教科指導	1 基礎技術に関する研修	6月2日	教科指導法1	講義・研究協議	校種別・教科別	3.0
	2 授業の進め方に関する研修	夏期休業中	教科指導法2・3	講義・演習	校種別・教科別	12.0
	3 授業参観に関する研修					
	4 授業研究に関する研修					
道徳	1 道徳教育の基礎的理解に関する研修	10月27日	道徳教育の意義と進め方	講義・演習	小中対象	2.5
	2 道徳の時間の指導に関する研修		道徳教育 授業づくり	演習	校種別	3.5
特別活動	1 特別活動の教育的意義	6月16日	特別活動の意義と進め方	講義・研究協議	校種別	1.5
	2 特別活動の指導計画と授業の実際					
	3 学級活動の指導と評価の工夫改善					
	4 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の指導と評価の工夫改善	6月2日、16日、30日	宿泊研修事前研修	協議	グループ別	4.0
			宿泊研修			2泊3日
		7月26日～28日	校外学習等の引率の心構え	講義	全体	1.0
			野外炊事の実際	体験	グループ別	2.5
			自然観察の実際と指導法	体験	グループ別	5.0
	ストレスマネジメント	講義・演習	全体	1.0		
	今までの実践を振り返っての情報交換会	研究協議	校種別	1.5		
	防災教育の意義と進め方	体験	グループ別	3.0		
	研修のまとめ	研究協議	全体	1.5		
総合的な学習の時間	1 趣旨・ねらいに関する研修	11月10日	総合的な学習の時間の意義と進め方	講義	全体	1.0
	2 全体計画の作成に関する研修					
	3 学習活動の進め方に関する研修		総合的な学習の時間の実際	講義・演習	校種別	1.0
	4 評価に関する研修				グループ別	
生徒指導 進路指導	1 生徒指導	4月28日	生徒指導の意義と進め方	講義・研究協議	校種別	1.5
		8月7日	教育相談の意義と進め方	講義・演習	全体	2.5
			教育相談基礎演習	講義・体験	全体・校種別	3.0
	2 進路指導	6月16日	キャリア教育 キャリア教育の進め方	講義 講義・研究協議	全体 校種別	1.0 1.5

初任者研修計画一覧

対象	研修番号						実施日	研修会名	研修内容	会場	実施機関
	小	中	高	特	養	栄					
小中高特 養栄	701	801	901	1001	1101	1201	4/14(金)	開講式	開講式 講話(義務教育課長)	総合教育 センター	義務教育課 総合教育 センター
								教育公務員の服務	教育公務員の服務 研修の概要オリエンテーション		
								学校運営への参画	初任者としての学校運営への参画		
								学級経営	【小・中・高】学級経営の理論と実践 【特】新任教員の心構え		
								養護教諭専門1	健康管理		
								栄養教諭専門1	栄養教諭の役割		
								接遇	社会人としての接遇の在り方		
小中高特 養栄	702	802	902	1002	1102	1202	4/28(金)	学習指導要領	学習指導要領と学習評価	総合教育 センター	総合教育 センター
								授業でのICTの活用	授業における情報教育機器の効果的な活用の仕方		
								生徒指導	生徒指導の意義と進め方		
								養護教諭専門2・3	養護教諭のための情報処理 学級活動における保健指導		
								栄養教諭専門2・3	栄養管理 学級活動における食に関する指導		
								特別支援教育基礎	特別支援教育の現状と今後の課題		
小中高特 養栄	703	803	903	1003	1103	1203	5/19(金)	特別支援学校参観	特別支援学校参観(9校) 研究協議	特別支援 学校	総合教育 センター
小中高特 養栄	704	804	904	1004	1104	1204	6/2(金)	教科指導法1	【小】国・社・算・理の指導法(選択履修) 【中・高】教科別 【特】小・中・高の教科選択	総合教育 センター	総合教育 センター
								養護教諭専門4	保健室での関わり		
								栄養教諭専門4	食に関する指導の在り方		
								人権教育	人権教育の意義と進め方(いじめ・体罰を含む)		
								宿泊研修事前I	宿泊研修事前研修I		
小中高特 養栄	705	805	905	1005	1105	1205	6/16(金)	キャリア教育	キャリア教育の意義と進め方	総合教育 センター	総合教育 センター
								特別活動	特別活動の意義と進め方		
								養護教諭専門5・6	食物アレルギー対応 他 食物アレルギー緊急時対応		
								栄養教諭専門5・6	食物アレルギー対応 他 学校給食の活用		
								宿泊研修事前II	宿泊研修事前研修II		
小中高特 養栄	706	806	906	1006	1106	1206	6/30(金)	危機管理～情報～	情報に関する危機管理	総合教育 センター	総合教育 センター
								健康教育～食育～	食育の意義と進め方		
								健康教育～保健・安全～	健康教育の意義と進め方		
								宿泊研修事前III	宿泊研修事前研修III		
小中高特 養栄	707	807	907	1007	1107	1207	7/26(水)	宿泊研修1	入所のつどい 校外学習等の引率の心構え 野外炊事の実際 ストレスマネジメント	ハヶ岳 少年 自然の家	総合教育 センター
	708	808	908	1008	1108	1208	7/27(木)	宿泊研修2	自然観察活動の実際と指導法 情報交流会 福祉とボランティア研修準備		
	709	809	909	1009	1109	1209	7/28(金)	宿泊研修3	防災教育の意義と進め方 研修のまとめ 退所のつどい		
小中高特 養栄	710	810	910	1010	1110	1210	8/7(月)	学校教育相談	教育相談の意義と進め方 教育相談基礎演習 【五年経験者研修との合同研修】	総合教育 センター	総合教育 センター
小中高特	711	811	911	1011			8/16(水)	福祉とボランティア	福祉施設等への訪問体験(13施設) ボランティア活動の意義と進め方	各施設	総合教育 センター
小中高特 養栄	712	812	912	1012	1111	1211	夏季休業中	教科指導法2	【小】理科(実験)の指導を全員履修 8月10日(木) 【中・高】各教科別に教科専門研修より選択履修 【特】研修番号(505)「通常の学級における特別支援教育」研修を 全員履修 8月3日(木)	総合教育 センター	総合教育 センター
								養護教諭専門7	研修番号(246)「養護教諭が行うフイジカルケア」研修を履修 8月17日(木)		
								栄養教諭専門7	研修番号(303)「食育」研修を履修 8月2日(木)		
小中高特	713	813	913	1013			夏季休業中	教科指導法3	【小】音楽・図画工作・家庭・体育の指導(教科専門研修より選択履修) 【中・高】各教科別に教科専門研修より選択履修 【特】研修番号(503)「特別支援学級の授業づくり」研修を全員履修 7月31日(月)	総合教育 センター	総合教育 センター
高特			914	1014			10/13(金)	企業等体験	民間企業等体験研修	県内企業	総合教育 センター
小中 養栄	714	814			1112	1212	10/27(金)	道徳教育	道徳教育の意義と進め方 授業づくり	総合教育 センター	総合教育 センター
			養護教諭専門8・9	健康管理・食物アレルギーについて 歯科保健の進め方							
			栄養教諭専門8	衛生管理							
小中高特 養栄	715	815	915	1015	1113	1213	11/10(金)	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間の意義と進め方	総合教育 センター	総合教育 センター
								博学連携	博物館等への訪問(5施設)と学校教育への活用の仕方	各会場	
小中高特	716	816	916	1016			7～11月 (2日間)	地域と教育	文化財・地理・歴史・自然等の地域資源の教材化	各地域	総合教育 センター
小中高特 養	717	817	917	1017	1114		1/12(金)	情報技術実践	ICTを活用した授業実践発表と研究協議	総合教育 センター	総合教育 センター
								養護教諭専門10・11	保健教育実践発表と研究協議 健康観察の進め方		
小中高特 養栄	718	818	918	1018	1115	1214	1/26(金)	研修の成果と課題	初任者研修の成果と課題についての発表と研究協議	総合教育 センター	総合教育 センター
								地域と教育成果発表	「地域と教育」研修の成果物の発表		
								所長講話	講話(総合教育センター所長)		
								閉講式	閉講式		

平成30年度 初任者研修 総合教育センターにおける研修計画について

山梨県総合教育センター 初任研担当

1 運営の基本方針

- (1) 文部科学省で示している7つの分野(基礎的素養・学級経営・教科指導・道徳・特別活動・総合的な学習の時間・生徒指導・進路指導)を中心に行う。
- (2) やまなし教員等育成指標で示している、求められる資質・能力に基づいて行う。
- (3) 体験活動・情報交換を重視し、校種の枠を超えて課題等を協議できる機会とする。
- (4) 主体的・自主的な研修態度を育成する。

文部科学省が示している分野・項目		やまなし教員等育成指標の項目	総合教育センターにおいて計画した研修		
研修分野	研修項目	求める資質・能力	実施日時	研修内容	研修時間
基礎的要素	1 公教育の役割と諸課題の解決に向けた取組	教職としての素養、教員としての専門性	4月13日	学校教育の現状と課題	1.0
	2 学習指導要領と教育課程の編成	学習指導	4月27日	学習指導要領と評価	1.5
	3 学校教育目標の具現化に向けた取組	学校運営(教育課程)			
	4 教員の勤務と公務員としての在り方	教職としての素養	4月13日	教育公務員の服務	1.0
	5 学校の組織運営	学校運営全般		初任者としての学校運営への参画	1.0
	6 教員研修と教員としての生き方	教職としての素養、学校運営(研修)		社会人としての接遇の在り方	1.0
	7 教育課題の解決に向けた取組				
	①人権教育	生徒指導(児童生徒理解、道徳性の涵養)	6月1日	人権教育	1.5
	②環境教育	学習指導	6月1日	教科指導法1	3.0
			夏期休業中	教科指導法2・3	12.0
	③教育の情報化等への対応	新たな教育課題(情報教育の推進)	4月27日	授業でのICTの活用	1.0
			6月29日	情報に関する危機管理	1.5
			1月11日	情報技術実践(ICT活用授業実践報告)	5.5
	④教育の国際化への対応	新たな教育課題(グローバル化への対応)	任意の2日	地域と教育	12.0
	⑤学校保健、安全指導の進め方	学校運営(学校安全)	6月29日	健康教育 保健安全	1.5
	⑥食に関する指導の進め方(含む給食指導)			健康教育 食育	1.0
	⑦その他教育課題への対応				
8 特別支援教育の制度と具体的な取組	生徒指導(児童生徒理解)、特別支援教育	4月27日	特別支援教育基礎	1.5	
		5月18日	特別支援学校参観	6.0	
9 教育機関や企業等における体験を通した研修	学校運営(連携・協働、研修)	11月16日	【小中】企業等体験研修	6.0	
		11月16日	【高特】福祉とボランティア	6.0	
		10月19日	博物館等の学校教育への活用の仕方	3.0	
10 研修の総括	教職としての素養、教員としての専門性	1月25日	初任者研修の成果と課題 初任者の今後に期待すること	2.5 1.0	
学級経営	1 学級経営の意義	生徒指導(学級経営)	4月13日	学級経営の基本的な考え方	1.5
	2 学級経営の実際と工夫			学級経営の実際と課題	
	3 保護者と連携を図った学級経営				
	4 学級事務の処理				
教科指導	1 基礎技術に関する研修	学習指導	6月1日	教科指導法1	3.0
	2 授業の進め方に関する研修		夏期休業中	教科指導法2・3	12.0
	3 授業参観に関する研修				
	4 授業研究に関する研修				
道徳	1 道徳教育の基礎的理解に関する研修	生徒指導(道徳性の涵養)	8月16日	道徳教育の意義と進め方	2.5
	2 道徳の時間の指導に関する研修			道徳教育 授業づくり	3.5
特別活動	1 特別活動の教育的意義	学習指導	6月15日	特別活動の意義と進め方	1.5
	2 特別活動の指導計画と授業の実際	生徒指導	8月8日	防災教育の意義と進め方	3.0
	3 学級活動の指導と評価の工夫改善	学校運営(教育課程)			
			6月29日	運動部活動の在り方	0.5
	4 児童会・生徒会活動、クラブ活動、学校行事の指導と評価の工夫改善		6月1日、15日、29日	宿泊研修事前研修	4.0
			前団 7月26日 ~27日	宿泊研修	2泊3日
				校外学習等の引率の心構え	1.0
				野外炊事の実際	2.5
			自然観察の実際と指導法	5.0	
	後団 7月30日 ~31日	ストレスマネジメント	1.0		
		今までの実践を振り返っての情報交換会	1.5		
		研修のまとめ	1.5		
総合的な学習の時間	1 趣旨・ねらいに関する研修	学習指導	10月19日	総合的な学習の時間の意義と進め方	1.0
	2 全体計画の作成に関する研修	キャリア教育		総合的な学習の時間の実際	
	3 学習活動の進め方に関する研修				
	4 評価に関する研修				
生徒指導 進路指導	1 生徒指導	生徒指導	4月27日	生徒指導の意義と進め方	1.5
			8月8日	教育相談の意義と進め方 教育相談基礎演習	1.5
	2 進路指導	キャリア教育	6月15日	キャリア教育	1.0
				キャリア教育の進め方	1.5

初任者研修計画一覧

対象	研修番号						実施日	研修会名	研修内容	会場	実施機関
	小	中	高	特	養	栄					
小中高特 養栄	701	801	901	1001	1101	1201	4/13(金)	開講式	開講式 講話(教育監)	総合教育 センター	義務教育課 総合教育 センター
								教育公務員の服務	教育公務員の服務 研修の概要オリエンテーション		
								学校運営への参画	初任者としての学校運営への参画 研修申込方法		
								学級経営	【小・中・高】学級経営の理論と実践 【特】新任教員の心構え		
								養護教諭専門1	学校保健活動の推進と養護教諭の役割		
								栄養教諭専門1	栄養教諭の役割		
								接遇	社会人としての接遇の在り方		
小中高特 養栄	702	802	902	1002	1102	1202	4/27(金)	学習指導要領	学習指導要領と学習評価	総合教育 センター	総合教育 センター
								授業でのICTの活用	授業における情報教育機器の効果的な活用の仕方		
								生徒指導	生徒指導の意義と進め方		
								養護教諭専門2・3	養護教諭のための情報処理 健康管理		
								栄養教諭専門2・3	栄養管理 学級活動における食に関する指導		
								特別支援教育基礎	特別支援教育の現状と今後の課題		
小中高特 養栄	703	803	903	1003	1103	1203	5/18(金)	特別支援学校参観	特別支援学校参観(9校) 研究協議	特別支援 学校	総合教育 センター
小中高特 養栄	704	804	904	1004	1104	1204	6/1(金)	教科指導法1	【小国・社・算】の指導法(選択履修) 【中・高】教科別 【特】小・中・高の教科選択	総合教育 センター	総合教育 センター
								養護教諭専門4	学級活動における保健指導		
								栄養教諭専門4	食に関する指導の在り方		
								人権教育	人権教育の意義と進め方(いじめ・体罰を含む)		
								宿泊研修事前I	宿泊研修事前研修I		
小中高特 養栄	705	805	905	1005	1105	1205	6/15(金)	キャリア教育	キャリア教育の意義と進め方	総合教育 センター	総合教育 センター
								特別活動	特別活動の意義と進め方		
								養護教諭専門5・6	食物アレルギー対応 他 食物アレルギー緊急時対応		
								栄養教諭専門5・6	食物アレルギー対応 他 学校給食の活用		
								宿泊研修事前II	宿泊研修事前研修II		
小中高特 養栄	706	806	906	1006	1106	1206	6/29(金)	危機管理～情報～	情報に関する危機管理	総合教育 センター	総合教育 センター
								健康教育～食育～	食育の意義と進め方		
								運動部活動の在り方	運動部活動の意義と進め方		
								健康教育～保健・安全～	学校安全と健康教育の意義と進め方		
								宿泊研修事前III	宿泊研修事前研修III		
小中高特 養栄	707	807	907	1007	1107	1207	7/26(木)	宿泊研修1(前団)	入所のついで 校外学習等の引率の心構え 野外炊事の実際 情報交換会 ストレスマネジメント	八ヶ岳 少年 自然の家	総合教育 センター
	708	808	908	1008	1108	1208	7/27(金)	宿泊研修2(前団)	自然観察活動の実際と指導法 研修のまとめ 退所のついで		
	707	807	907	1007	1107	1207	7/30(月)	宿泊研修1(後団)	入所のついで 校外学習等の引率の心構え 野外炊事の実際 情報交換会 ストレスマネジメント		
	708	808	908	1008	1108	1208	7/31(火)	宿泊研修2(後団)	自然観察活動の実際と指導法 研修のまとめ 退所のついで		
小中高特 養栄	709	809	909	1009	1109	1209	8/8(水)	防災教育	防災教育の意義と進め方	総合教育 センター	総合教育 センター
								学校教育相談	教育相談の意義と進め方		
小中 養栄	710	810			1110	1210	8/16(木)	道徳教育	道徳教育の意義と進め方 授業づくり	総合教育 センター	総合教育 センター
								養護教諭専門8・9	健康管理・食物アレルギーについて 保健指導の進め方		
								栄養教諭専門8	衛生管理		
小中高特 養栄	711	811	910	1010	1111	1211	夏季休業中	教科指導法2	【小】 外国語活動研修を全員履修 8月9日(木) 【中・高】各教科別に教科専門研修より選択履修 【特】 研修番号(504)(505)(506)から1つ選択	総合教育 センター	総合教育 センター
								養護教諭専門7	研修番号(257)「食育処置研修会」を履修 8月17日(金)		
								栄養教諭専門7	研修番号(303)「食育研修会」を履修 8月9日(木)		
小中高特	712	812	911	1011			夏季休業中	教科指導法3	【小】 音楽・図画工作・家庭・体育の指導 (教科専門研修より選択履修) 【中・高】各教科別に教科専門研修より選択履修 【特】 研修番号(504)(505)(506)から1つ選択 【教科指導法2で選択した研修以外から1つ選択】	総合教育 センター	総合教育 センター
小中高特 養栄	713	813	912	1012	1112	1212	10/19(金)	総合的な学習の時間	総合的な学習の時間の意義と進め方	総合教育 センター	総合教育 センター
								博学連携	博物館等への訪問(5施設)と学校教育への活用の仕方		
小中高特	714	814	913	1013			11/16(金)	小中:企業等体験	民間企業等体験研修(市教委・各事務所ごと)	各企業 各施設	総合教育 センター
								高特:福祉とボランティア	福祉施設等への訪問体験(6施設) ボランティア活動の意義と進め方		
小中高特	715	815	914	1014			7～11月 (2日間)	地域と教育	グローバル化への対応という視点から、文化財・地理・歴史・自然等の地域資源の教材化	各地域	総合教育 センター
小中高特 養	716	816	915	1015	1113		1/11(金)	情報技術実践	ICTを活用した授業実践発表と研究協議	総合教育 センター	総合教育 センター
								養護教諭専門10・11	保健教育実践発表と研究協議 学校保健活動の評価		
小中高特 養栄	717	817	916	1016	1114	1213	1/25(金)	研修の成果と課題	初任者研修の成果と課題についての発表と研究協議	総合教育 センター	総合教育 センター
								地域と教育成果発表	「地域と教育」研修の成果物の発表		
								教育監講話	講話(教育監)		
								閉講式	閉講式		